

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	京都市	代表者名	門川 大作
担当者部署	総合企画局	連絡先電話番号	075-222-3216
担当者役職	係員	担当者氏名	大塚 雄登
住所	604-8571 京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	研修実施者側からの視点では、本市におけるEBPMを大きく前進させる非常に素晴らしい研修となったと感じている。これは講師による事前の適切な内容設定と、分かりやすいプレゼンによるものである。また、参加者からの沢山の質問に対しても、一つ一つ丁寧かつ具体的なアドバイスをいただき、アンケート結果も大変好評であった。さらに講師の了承のもと、研修の様子を動画にして全庁に展開し、EBPM推進をすべての所属に周知することもできた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月13日	13時00分	17時15分	15	240
3-2. 派遣場所	会場名	下京区役所		最寄駅	未定
	所在地	〒600-8588 京都市下京区西洞院通塩小路東塩小路町608番地8		最寄駅からの交通手段	徒歩5分
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	京都市職員	52人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	EBPMの重要性やデータの活用の考えは、一部の職員には浸透しつつあるが道半ばであり、多くの政策立案現場では、実務でのデータ分析や活用の経験が乏しいのが実情である。また、実際にデータを活用して政策立案した場合でも、その施策が市民の求める形で進んでいるか判断できない事例や、実施後の効果測定に際して、データに基づく判断の部分がどれほど寄与したか判明しない事例なども多いと考える。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	研修に参加した職員がEBPMの基本的な概念及びその重要性を理解し、実務においてデータ分析を行えるようになること。また、データを活用し政策立案から施策実施後の効果判定までを正しく行えるようになること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	EBPMの基本的な内容からデータ分析の具体的な手法、その注意点を他都市や国等の動向や最新事例を交えて講義をいただきました。個々の込み入った内容の質問に対しても具体性を持ち丁寧な応答をしていただけました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講演に対するアンケートの回答からもわかるように、参加した職員は講演を通してEBPMの必要性及びデータ分析の知識を深め、今後全庁的にEBPMを推進する機運を醸成することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	EBPMを全庁に周知しそれを推進していくことを目的としているため、具体的な成果物の作成は設定していない。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のPDF資料参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	すべての職員がEBPMの視点を持ち、政策の立案から実施、実施後の効果の判断、そして取組全体の評価に至るまで、データを効率的に活用できるようになること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

